

\ビジョン／

水辺からまちを豊かに

港町横浜の発展を支えてきた河川は、時代とともに役割を変えながら、
今もなお、都市部に残る貴重な水辺空間として、まちの骨格であり続けています。
この歴史ある水辺空間の魅力を磨き上げ、新たな価値を創出することで、
まちに潤いと賑わいを広げ、エリア全体の活性化につなげていきます。

目指す水辺の姿

癒し

自然が息づく
心やすらぐ水辺



まち

まちにいながら川を
感じられる水辺



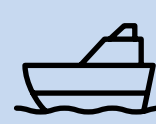
体験

水上で心躍る体験が
できる水辺



舟運

船に乗ることが
身近な水辺



催し

週末に
でかけたくなる水辺



防災

災害時に
役立つ水辺



エリア全体の活性化へ

01 多様な主体の参加機会を創出する
(ウェルカム)

立場や背景を超えて、
「やりたい」と思うことに挑戦できる環境づくりに努め、
対話を通じて協働する姿勢を大切にします。

02 まちの歴史と個性を尊重する
(ローカリティ)

地域に根ざした歴史を尊重し、
それぞれのエリアが持つ固有の魅力を活かしながら、
水辺のまちづくりを進めます。

03 チャレンジ精神を大切にする
(チャレンジ)

柔軟な発想と挑戦する姿勢を大切に、
実践から得られた学びを活かしながら、
取組を着実に前進させていきます。

04 訪れる人や利用する人の目線を大切にする
(ユーザー視点)

ユーザーが楽しむこと、ワクワクすること、
癒されることなどを目指して取り組んでいきます。

05 自然環境を守り、
癒しの空間としての水辺を大切にする
(環境・リトリート)

水質浄化や清掃活動などを通じて、
都市の中の貴重な自然を守り、
地域の人々に親しまれるうるおいある
癒しの空間を育んでいきます。

06 誰もが安全・安心に過ごせる水辺を守る
(セーフティー)

安全ルールの策定・共有、マナーの醸成等を図り、
安全・安心を第一に取組を進めます。

癒し

自然が息づく
心やすらぐ水辺



都市部でありながら、自然を感じつつ散策や休憩などの心やすらぐ時間を過ごせる水辺。

川を渡る風や潮の満ち引き、水生生物、桜をはじめとする川沿いの草木など、四季折々の自然にふれながら、やすらぎと潤いを感じることができる環境を育てます。

実現に向けた取組

水辺環境の維持・向上

水辺の清掃活動・緑化活動や河川環境の調査等に取り組むことで、水辺環境の維持・向上に努め、親しみを持てる美しい環境を守ります。



水辺の居場所づくり

水辺のプロムナードやベンチ等のファニチャーを整備するなど、水辺で心地よく過ごせる環境を整えます。水辺と道路や公園などの公共空間を一体的に活用した憩いの場づくりに取り組めます。



まち

まちにいなから
川を感じられる水辺



川面に映る光や川風を感じたり、ライトアップされた橋を眺めながら、カフェやレストランなどの沿川の施設で楽しいひとときを過ごせる水辺。

人々の営みがまちから水辺へと広がることで、
新たな社会的・文化的価値を持つ水辺空間がかたちづくりられます。

実現に向けた取組

水辺を感じられるまちづくり

川を望めるテラス席のあるレストランのような、水辺に顔を向けた建物を誘導するためのルールづくりに取り組むなど、水辺を感じられるまちづくりを進めていきます。



新たな水辺活用の働きかけ

沿川の土地・建物の所有者等に対し、水辺活用への協力を積極的に働きかけていくとともに、水辺ビジョンに沿った事業等を企図する事業者等を支援していきます。



まちに意識される水辺の空間づくり

沿川の植栽や囲障の設えを工夫しまちから川への開放的な眺望を確保したり、橋や護岸をライトアップするなど、まちに意識される水辺の空間づくりに取り組みます。



体験

水上で心躍る体験ができる水辺



SUPやカヌーなどのアクティビティをはじめ、水とふれあえる心躍る体験ができる水辺。

多彩なまちの表情を楽しみながら、水との一体感を味わえる、横浜のこの場所ならではの体験の機会を広げていきます。

／ 実現に向けた取組 ／

水上体験メニューの充実

SUPやカヌーなどの水上アクティビティを、日常的に親しめる機会や多くの人が集うイベントとして展開していきます。また、歴史や桜、街並みといった地域の魅力と組み合わせるなど、このエリアならではの水上体験メニューを充実させていきます。

環境活動との連動

SUPやカヌーなどの水上アクティビティを楽しみながら川の清掃やエコツアー等に参加できる機会を増やしていくことで、地域の川への愛着を育てていきます。

親水施設等を活用するための仕組み・ルールづくり

エリア全体の親水施設共通の予約・利用調整システム等の仕組みをつくるなど、手続きを簡素化することで、水上アクティビティを楽しむ団体やユーザーが親水施設等を利用する際の利便性の向上を図ります。

河川の安全航行ルールの維持・改善

みんなが安全に気持ちよく水辺を利用できるよう、動力船と非動力船が共存するための安全航行ルールの維持・改善や、親水施設の利用ルールづくりを行うとともに、それらのルールの普及啓発にも取り組んでいきます。

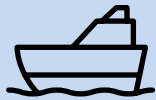
水辺の拠点の環境づくり

水上アクティビティのユーザーが気軽に立ち寄れる飲食・休憩施設の整備など、水上アクティビティを日常的に楽しむための環境づくりに取り組んでいきます。



舟運

船に乗ることが
身近な水辺



観光や移動などで気軽に川で船に乗ることができ、
移動そのものを楽しめる環境が身近にある水辺。

人と人、まちとまちの交流を広げ、エリア全体の活性化に貢献します。
さらに、港湾エリアへとつながる航路の開拓や、羽田や三浦、
富津など遠方の拠点との交流も広がっていきます。

／ 実現に向けた取組 ／

乗船機会の拡充

ゆったりと水辺を楽しみながら移動するのはもちろん、地域ならではの自然や景観、文化を活かしたコンテンツと組み合わせるなど、乗船体験を充実させるとともに、新たな航路を開拓するなど、乗船機会の拡充を図ります。

回遊性向上に向けた取組

水上交通と陸上の公共交通やシェアモビリティを組み合わせるなど、水辺へのアクセスを強化するとともに、水上と陸上を合わせた回遊性の向上を図ります。

親水施設等を活用するための
仕組み・ルールづくり

エリア全体の親水施設共通の予約・利用調整システム等の仕組みをつくるなど、手続きを簡素化することで、船舶事業者等が親水施設等を活用する際の利便性向上を図ります。

河川の安全航行ルールの
維持・改善

みんなが安全に気持ちよく水辺を利用できるよう、動力船と非動力船が共存するための安全航行ルールの維持・改善や、親水施設の利用ルールづくりを行うとともに、それらのルールの普及啓発にも取り組んでいきます。

水辺の拠点の環境づくり

親水施設を舟運の船着場として利用しやすくするために、乗船客の待合所やチケット販売等の機能の充実を図っていきます。

催し

週末に
でかけたくなる水辺

四季を通じて、オープンカフェやマルシェ、アートイベントなど、まちの個性を映す多彩な催しが開かれ、わざわざ足を運びたくなる水辺。

人々が集まり、つながり、交流することで、水辺に活気が生まれ、まちの魅力が高まっていきます。

／ 実現に向けた取組 ／

公共空間活用のサポート

道路や公園などの公共空間と水辺を一体的に活用したイベント等によるにぎわいづくりを推進していくために、水辺でイベントを開きたい人が相談できる窓口を設置し、手続き支援等を行っていきます。

親水施設等を活用するための
仕組み・ルールづくり

エリア全体の親水施設で共通の予約・利用調整システム等の仕組みをつくるなど、手続きを簡素化することで、イベント等の実施者が親水施設等を活用する際の利便性向上を図ります。



水上交通を活用した地域イベントの連携

離れた場所で開催されている地域のイベント同士を水上交通で結ぶなど、水辺を介した回遊性を高めていくことで、エリア全体の活性化を図ります。



防災

災害時に
役立つ水辺



災害時に、地域の防災拠点としての役割を果たす水辺。

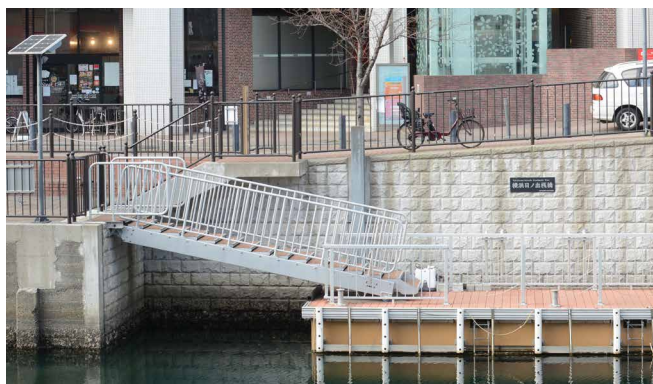
各水辺の拠点は、船舶による物資輸送や炊き出しなど、
災害時に地域で活用することが想定されています。

日頃から防災訓練やイベントを通じて水辺の拠点を活用し、地域の防災力を高めておくことが重要です。

実現に向けた取組

水辺の拠点整備

河川再生計画とかわまちづくり計画に基づき
災害時の防災拠点としても利用できるように配慮
した施設の整備に取り組んでいきます。



地域防災力の向上

水辺の拠点での炊き出しや水上輸送訓練、防災
イベント等で地域防災力を高めると共に、エリア
内外の水辺の拠点や棧橋、病院等と連携し、
災害時の協力体制を構築します。



目指す水辺の姿を、効果的・持続的に実現していくために、
情報発信・プロモーションや次世代の育成に取り組んでいきます。

／ 実現に向けた取組 ／

情報発信・プロモーション

水辺に関わる仲間や、興味を持ってくれる人を増やしていくために、エリア内の水辺活用の取組について、一体的で魅力的な情報発信を行い、認知度の向上を図ります。また、戦略的なプロモーションにより、関心層への的確にアプローチすることで、新規の事業者やユーザーを呼び込みます。



次世代の育成

将来にわたって、活動を継続していくために、教育機関との連携などを通じ、地域の子どもたちに水辺に関心を持ってもらうための普及・啓発活動を行います。また、若者が主体的に水辺活用の取組に参加できる機会やしくみをつくっていきます。

